

自治体との協同レジメ

(2020 年 6 月 10 日)

東京南部事業本部 川原 隆哲

1. はじめに

- 新型コロナ騒動ではっきりした事
- 自己紹介
 - 農山村での協同の取り組みから学んだこと
 - 自分の研究テーマ
 - 協同労働とは

自治体との協同（経験的な振り返り：東京にて）

- 公共とは何か
- 中央エリア時代
 - わかばの思い出
公共をめぐる戦い（保護者・自治体）
 - 多様な仕事
 - ✓ 世田谷ぽっかぽかの仕事おこし
 - ✓ 文京緑化・文京区もえぎ事業所からいきいき森川・礪川へ
- 南部エリア
立ち上げの希望の中での自治体との関係づくり
 - エリアの力で全事業所を立ち上げる。
 - P o k k e の思い出・東麻布保育園の地域とのつながり
- 三多摩事業本部
 - エリアから事業本部へ
 - 特徴的な現場と地域の思い
 - 自分たちの取り組みの成果を挑戦：企画書大挑戦の流れから可能性をつかむ※東麻布・札ノ辻・放課GOの危機の応援に
親は前面に立ち切った港区との闘い
1日かけての全組合員会議（放課GO）
 - 東北の震災とキラッと立川（立川市子ども未来センター）
- 再び東京中央事業本部
 - わかばの挑戦：大規模事業所の再挑戦
 - 目白台・根津の更新から学んだこと
 - 渋谷の暫定園から新しい可能性
 - n e t w o r k リングスの誕生
 - 豊島区の経験（オアシスと宙）
 - 新宿協同集会を通じて感じる社会連帯：新しい公共（パルシステム・生活クラ

ブ・地域のNPO)

- 再び南部事業本部へ
 - 10年目の事業の再編（東麻布保育園・子育て応援プラザP o k k e）
 - 新しい展開：能動的な地域づくりのきっかけが見える新しい風景